



対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ウエスタン・ホスピタリティ協会研修施設改修計画」
引渡式

2020年12月8日、ウエストモアランド県ウエスタン・ホスピタリティ協会研修施設（ネグリル校）において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ウエスタン・ホスピタリティ協会研修施設改修計画」の引渡式が実施されました。

藤原大使は挨拶の中で、ジャマイカにおける草の根事業では、教育分野に重点が置かれており、本計画の完了によって、この地域の重要セクターである観光業の人材育成に貢献できることを嬉しく思う、さらに今後も日本はジャマイカ住民のエンパワメントのため支援を続けていきたいと述べました。

本件の対象であるウエストモアランド県は、ジャマイカ西部に位置し、国内屈指の観光地であるネグリル町を有します。また、同ネグリル校は、同県における無職の青年層及び観光業に従事するための技能取得を希望する者を対象として授業を実施していますが、観光業に必要な技能・知識を学ぶ教室を有していませんでした。今般の草の根無償資金協力により、同ネグリル校は、2つのコンピューター室、3つの教室、1つの図書室、8つの訓練室が改装されました。生徒達は、職業的かつ実践的な研修を受けることができるようになり、雇用状況が改善されることが期待されています。

今般の引渡式には、モーア・ウエストモアランド県知事などのジャマイカ側の来賓をはじめ、バッセル・ウエスタン・ホスピタリティ協会研修施設校長等の学校関係者、生徒、報道関係者などが出席しました。

同ネグリル校を代表してバッセル校長から、引き渡しを迎えることにより、生徒達が快適な環境で良質な教育を受けることができるようになる、日本からの支援に心から感謝を申し上げたいと述べました。

令和2年12月8日引渡式の模様（写真）



本使挨拶



モーア市長挨拶



校長挨拶



テープカット



除幕式



生徒・教員等との記念撮影